

令和2年3月10日

鳥羽市議会会議

質疑通告者一覧表

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①更なる鳥羽市の進展を願い、令和元年10月2日付で、予算決算常任委員会の議員討議における提言書を市長に提出した。過去2年間についても同様の提言書を議会から市長に提出している。どのように当初予算に反映したのか。</p> <p>②事業の見直しを開始し、限られた財源の中でやりたいこと、やるべきことを選び、組み立て、市長ビジョン事業を選定し実施している。これらは、市民の幸福実感向上を目指す事業なのか。市長の存念をきく。</p> <p>③市長は、任期集大成となる令和2年度当初予算を「一張一弛予算」と命名した。一般会計は、124億2600万円で過去最大規模となっているが、歳出においては、継続事業において、大幅に予算削減あるいは廃止されたものがある。市民の生活をも締め付け、幸福が実感できないと危惧するが、市長の存念をきく。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 議案第 6 7 号 令和 2 年度鳥羽市一般会計予算について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①令和 2 年度予算編成基本方針決定時の決意と令和 2 年度当初予算案確定後の感想を含め、市長の思いをきく。</p> <p>②令和 2 年度当初予算編成にあたり、経常経費は前年度比 3 %削減で要求を行うよう指示をしているが、どのような意図があるか。また、政策経費については「ゼロベースから事業内容を検討していただき真に必要な事業だけ要求してください」と指示があるが、各課への削減要求は市長の掲げるビジョンと整合性があるか。</p> <p>③令和元年度末廃止事業について、市長の描く鳥羽市の未来と合致しなかったとの認識でよいか。</p> <p><市長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算について</p> <p>市長は所信表明で「一張一弛」予算と命名した。「財政健全化を目指し、熱く厳しい議論を重ねた」とも述べた。市長が下した政治判断を以下にきく。</p> <p>①市長は所信表明で「2040年の人口減少と少子高齢社会に耐える財政健全化を目指す」とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2040年に到達する財政指標は何を定め、どんな数字なのか。 ・今後20年間の計画はどうか。また最初の5年間の年度ごとの指標はどうか。20年度はどの指標をどこまで改善するのか。 ・そもそも「財政健全化」は何のために行うのか。 <p>②歳入について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般財源は前年対比で特段に悪化したのか。 ・市税収入は前年対比で悪化したのか。 ・今年度から「財政健全化」に踏み切らねばならなかった理由は何か。 <p>③新年度予算は市民にどんなメッセージを発したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住、海女文化、獣害被害等、市の力点事業の行方。 ・市民サービスカットが市民に及ぼす影響をどう判断したか。 <p>④会計年度任用職員について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年対比での賃金の増減。 <p><市長及び担当課長></p>			